

# 国境なき技術団。

中東では、石油がある限り、人は豊かな生活が約束されているという。でも、石油はいつか枯渇する。その時、中東の人々は? 中東各国でエンジニアリング技術を駆使し、エネルギー・化学プラントの建設を手掛けてきた日揮。現地で多くの人々と交流を重ね、中東は第二の祖国と思うほど、身近な地域だ。工事に汗を流す若者。町で遊ぶあどけない子供たち。日々そんな光景に接しているからこそ、私たち日揮は中東がただ事業のためだけの場であってはいけないと考えた。愛着ある中東、その「石油の次の未来」のために、私たちが持つ技術力を人々に伝承できないか。その一步として、サウジアラビアに世界初の本格的なエンジニアリング会社を設立。現地の人々を重用し、技術の継承と雇用の場の提供を目指す。目標は「中東の技術立国」。資源エネルギー技術を中心に、環境、医療、原子力などの、日揮が持つあらゆるノウハウを彼らのものにする。さらに将来は太陽光など、新たなプロジェクトへ。そしてそれは、中東ばかりでなく、アフリカで、アジアで、中南米で、日揮が関わるすべての国へ広がる。その根底にある企業理念は、共生するグローバリズム。「エンジニアリング」を核に、メーカーでもない、商社でもない、新しいグローバル企業の姿を実現する。それが、日揮の新たな決意。[www.jgc.co.jp](http://www.jgc.co.jp)

エンジニアリングで、未来をつくる。

**日揮**  
JGC CORPORATION



日揮株式会社 〒220-6001 横浜市西区みなとみらい2-3-1

中国、インドといった新興国でのエネルギー需要増などを受け、エンジニア産業の成長に期待が高まっている。世界有数の資源輸出地域である中東などの海外を中心に多くのプロジェクトが見込まれる。一方で受注環境は韓国企業など新興勢力の台頭で「グローバル大競争」の時代に突入している。

石油や石油化学、液化天然ガス(LNG)に関するプラント市場は、新興国の経済成長や原油価格の上昇を追い風に拡がっている。

2011年に入ってからでは、日揮が1月、カタールの天然ガス処理プラントを約2500億円で、インドネシアでLNGプロジェクトを約1400億円で受注。東洋工業は、火力発電用の石油

の基本設計(FEED)などを受注した。また、東京電力・福島第一原子力発電所事故の影響で、世界的に原発建設も2月にオーストラリアの天然ガス液化設備

が続いている。一方、競合他社に目を向けると韓国勢が価格を武器に猛進。一方、競合他社が高まり、ガス田開発などが速する可能性もある。

日揮がインドネシアに建設したLNGプラントは、LNGの需要が高まり、ガス田開発などが速する可能性もある。

一方で、海外現地法人では、技術レベルのバツつきをなくすため、グローバル共通の技能評価基準を12年で受注した。千代田化工

では、海外拠点間での技術レベルのバツつきをなくすため、グローバル共通の技能評価基準を12年で受注した。千代田化工

では、海外拠点間での技術レベルのバツつきをなくすため、グローバル共通の技能評価基準を12年で受注した。